

平成23年7月6日～10日

# フィリピン レイテ訪問報告書



NPO法人 WITH事務局  
〒504-0913 岐阜県各務原市那加大東町61番地の2  
TEL.058-382-3688  
FAX.058-389-1201

<http://www.with-pj.org>  
E-mail/[info@with-pj.org](mailto:info@with-pj.org)



**「WITH」は、  
アジア諸国において植樹活動、  
物資支援を行う特定非営利活動法人です。**

近年、アジアを中心に各国で地滑り・水害など多数の災害が発生し、多くの人々が犠牲となり、地球温暖化も進んでいます。その原因として、後を絶たない森林の違法伐採があげられ、年々悪化しつつあります。この問題の解決の糸口として、アジア諸国での植樹活動および現地の子供たちに物資を支援し、健全な育成を図ることを目的とし、2007年4月、特定非営利活動法人WITHを設立いたしました。未来の地球環境の保護に貢献すべく、今後も活動を継続し、拡大していきたいと考えております。2011年7月6日～10日の5日間、第6回マングローブ植樹事業として、フィリピンへ行ってまいりました。今回は初めてレイテ島にて活動してまいりました。マングローブ植樹、及び地元の小学校や大学の生徒達に合計約100kgの衣服や文具の支援を行いました。今後とも「WITH」の活動にご賛同いただくとともに、ご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

代表 橋本 佳幸

## ■レイテ島と歴史について

レイテ島(Leyte、レイテとう)はフィリピン中部、ヴィサヤ諸島に位置する島。行政区分上は島の大半を占めるレイテ州と南部4分の1を占める南レイテ州に属する。人口は約190万人、南北180キロメートル、東西は広いところで65キロメートルと南北に細長い島である。面積は7,214平方キロメートル。

レイテ島は、レイテ湾に面した一帯が農業に適した平地である一方で中央部は山岳地帯となっており、熱帯性の気候と相まって密林となっている。おもな産業は林業、稲作、平地でのサトウキビや山地でのココナツなどのプランテーションによる農業、漁業。言語は英語のほか、北部と東部ではサマール島などでも使われるフィリピンの主要言語の一つ・ワライワライ語(ワライ語)が、西部と南部ではセブ島などで使われるセブアノ語が使用されている。

島内最大の都市は、レイテ湾に面し、レイテ州州都でもある東海岸のタクロバン(Tacloban)。材木積出港として、またイメルダ・マルコス元大統領夫人の出身地として有名。島の西海岸にはオルモック湾に面した地熱発電所のあるオルモック(Ormoc)の街や南レイテ州の州都マージン(Maasin)がある。

レイテ島の東側は、サマール島・レイテ島・ディナガット島で囲まれたレイテ湾がフィリピン海(太平洋)から入り込んでいる。東から北にかけて隣接するサマール島とは狭いところで幅2kmほどのサン・ファニーコ海峡で隔てられているが、ここを日本からの融資で建設されたフィリピン最長の橋梁サン・ファニーコ橋が結んでいる。また北にはカリガラ湾が切れ込み、ピリラン海峡を挟んでピリラン島(ピリラン州)がある。レイテ島北海岸のサマール島・ピリラン島・マスバテ島・ルソン島などに囲まれた海域はサマール海である。南のミンダナオ島とはスリガオ海峡で隔てられている。西にはオルモック湾があり、カモテス海を挟んでセブ島が、カニガオ海峡を挟んでポホール島がある。レイテ島からはこれらの島々へのフェリーが縦横に運航されている。

レイテ島周辺はスペイン人來航以前からマレー人系の民族、ピサヤ人が住み、中国や東南アジアなどとの交易を行いイスラム教を受け入れ、領主(ダトゥ、またはラジャ)を戴く多くの共同体を作っていたが、統一した国家を形成するには至らなかった。

レイテには16世紀多くのスペイン船団が訪れ、やがてスペイン支配が始まった。レイテ島の南沖にあるリマサワ島は、1521年にフェルディナンド・マゼランによるフィリピン諸島最初のキリスト教ミサが行われた場所という言い伝えがある。1543年にはルイ・ロペス・デ・ビリャロボスがサマール島などを巡った後レイテ島に來航し、これら諸島をスペインのフェリペ皇太子(フェリペ2世)をたたえてフェリピナス諸島と名づけ、フィリピンの名の由来となった。

レイテ湾とその周辺海域は、太平洋戦争中に世界海戦史上最大の激戦となったレイテ沖海戦の舞台として有名である。またダグラス・マッカーサー率いるアメリカ軍部隊は1944年10月20日レイテ湾に上陸、ここからフィリピン奪回の第一歩を記した。(なお23日にダグラス・マッカーサーがセルヒオ・オスメニヤとともに上陸。)その後フィリピンにおける決戦・レイテ島の戦いが全島を戦場として起こったが、日本軍は物資補給・兵員補給の輸送船が途中で沈められ、補給を断たれた8万人以上の兵士が戦死や病死・餓死でほぼ全滅するという惨敗を喫した。生き残った兵士はセブ島などへ個々に脱出したが、生還率はわずか3%ともいわれる。また数多くの島民が日本軍とのゲリラ戦に参加したほか、戦闘の巻き添えで一般人も犠牲となった。この凄惨な戦いは大岡昇平のレイテ戦記ほか戦記小説に詳しい。島内には、マッカーサーのフィリピン帰還・上陸を記念したモニュメントが上陸地点のパロ海岸にあるほか、日本軍兵士の慰霊碑が各所にある。 ウィキペディアより



レイテ島まではマニラ空港から飛行機で約1時間程



現地への途中にも慰霊碑がありました。

■平成23年6月28日 12:00 WITH事務所にて

7月の植樹ツアーの準備のため、出発するメンバーを中心としたスタッフが集まりました。今回は総勢6名で荷づくりをしました。

メンバーも荷詰めが慣れてきたとはいえ、この時期の作業で汗だくになっています。現地の子どものことを想うとスタッフも荷詰めに熱が入ります。

■13:30 昼食

荷詰めも終わり、スタッフ一同で仕行会を兼ねた昼食をとりました。出発を数日前に控え、皆意気込みを語り盛り上がりました。



■平成23年7月6日 7:00 中部国際空港集合

川本:小川:大野:橋本:多田:森の6名、時間通りに集合しました。

国際線の窓口では中国便の搭乗者が長い列を作っています。

■ 9:40 フィリピンエアライン PR925便

今回もバルサンを全員持参して行きました。

しかし搭乗前に3名は見つかり没収されてしまいました。(毒物検査不適合の為)

※以前、宿泊したホテルでダニに刺されたことがあり、それ以来毎回バルサンを持参しています。

■ 13:20 (現地時間 12:10)マニラ空港着

気温20℃の曇りです。出発した日本よりとても涼しく感じられます。

マニラでのガイドをお願いする、佐伯さん・清水さん含流です。

バンに子供達へのプレゼントが詰まった荷物を積み込んでホテルに向かいます。

■ 14:00 ホテル[ATRIUM HOTEL ]着

25階の高層ホテル、中の中央が吹き抜けとなっていて開放的です。

無事にチェックインを済ませて、ロビーにて明日からの打ち合わせを

行います。夕食まで明日の準備と休息です…

■ 18:00夕食

ホテルからマニラの街中を30分程走り、地元でも人気のローカルフード店で夕食です。

屋台風の店内は当然私たち以外は地元の人々でした。

豚のミミヤアシやアタマなどの肉を刻んで混ぜた「シシ」という郷土料理。ご飯にかけて頂きます。シンプルな塩味でご飯が進みます。

他にイカスミの炒め物、テールスープなどとても美味しく頂きました！

■ 21:00就寝 明日は4時集合です…早めに皆休みます。



中部国際空港にて(メンバー全員)



フィリピンエアライン PR925便にて出発



マニラ空港到着



バンに荷物を詰め込みます



地元でも大人気店！メニューも豊富



屋台風の調理場



ホテルは中央が吹き抜けです



豚肉のシシこれが一番旨い！



イカ墨煮込み？！濃厚な味

■7月7日:2日目:レイテ島へ～小学校交流会

■4:00起床

当然外は暗闇です。全員時間通りロビーに集合しました。

■4:30チェックアウト

■5:00マニラ空港着

朝早い時間ですが、国内線には沢山の人がいます。

■5:45フライト 7:00タクロバン空港着

いよいよレイテ島に到着！！空港出口にはタクシーの呼び込みで一杯です……

マニラでは曇りでしたが、レイテ島は晴天で日差しが強いです。

■8:00パイバイシティーへ出発

ダンプトラックに荷物を詰め込み、ホテルへ向けて出発！

約3時間の道のりとなります……朝の通勤通学時で道路はごった返しています。

通学途中の子供たちも慌しく沢山のタクシーバスが走っています。

■9:15Jollibeeにて朝食・休憩

フィリピンで最もポピュラーなジャリビーバーガーにて朝食。今回は何を食べようかな～

近くのショッピングセンターで子供達へのプレゼント(飴)を袋いっぱいに入りました。

■12:00 ホテル到着 Holy Child Pensionre

台風一過でかなりの晴天！ 太陽サンサンでとても暑い！！

じっとしていても汗が出てきます。

ここでWITHオリジナルTシャツ(名前入り！！)を受け取りました！！



タクロバン空港



空港付近は繁華街。ショッピングセンターあります。



Jollibee何度食べても美味しい！



店内にて



ホテル Holy Child Pensionre



パイバイシティー



オリジナルTシャツ



今回は名前入りです！！



ホテル到着時は気温も急上昇！



ホテル室内

■13:30 小学校へ出発

■14:00 アバンガ小学校到着:小学校交流会

車から見える先には大勢の子供たちが道路沿いで国旗を振って出迎えています。

■お出迎えとセレモニー

ブラスバンドの演奏隊のアーチをくぐって会場に入場します。

屋根付きの屋外運動場(バスケットコート)が会場となりそこには約200名の子供たちと地元の皆様が出迎えてくれました！

いよいよ交流会が始まります。

■国歌斉唱

フィリピン・日本それぞれを讃えあい国歌斉唱をしました。

■森君挨拶 WITHを代表して大学生の森君の挨拶です。

「私たちは日本から来ました。歓迎ありがとうございます！」

「沢山の服やボール、文具を持ってきました。いっぱい勉強して皆さんが素敵な大人になってほしいと願いが込められています。」

「みなさんの夢はなんですか??」

女の子「医者になりたいです!!」「一生懸命、勉強、スポーツを頑張って夢かなえてください!」



先をみると沢山の子供たちが・・・!



旗を振って笑顔で出迎です



会場入場時にはブラスバンド演奏



約200名の子供たちが集まってくれました!



森君の挨拶文メモ 悩んだ痕跡



森君の挨拶 最初は緊張気味!?



子供達から夢の発表「私は医者になりたいの!」



後ろの垂れ幕には歓迎の言葉



メンバーによる国歌斉唱



あまりの歓迎ぶりに一同大感激!



子供たちによる国歌斉唱

■市長挨拶【ELIAS AYA-AY様】

「私はマニラから来て2カ月になります。日本の方々がこのプロジェクトを進めてくれて自然と雇用を生んでくれました。感謝しています！」

■村長挨拶【CARLITO GALIA様】

「ようこそ！レイテ島へ！日本の皆さま。本日はとても良い記念日となりました。お互いの発展になればと願います。」

■川本挨拶

予定にはありませんでしたが、感激した川本が突然前に出て感謝の言葉を心こめて皆様に伝えました。

■歓迎のダンス

私たちの目の前で女の子たちがとても可愛いダンスを披露してくれました。

■感謝状

市長【ELIAS AYA-AY様】と村長【CARLITO GALIA様】からWITHに感謝状を頂きました！

■プレゼント

日本の皆さまの御好意で集めた衣類や文具・ボールなどを子供たちにプレゼントしました。皆とても喜んでくれて、その笑顔にまたまた一同感激でした。



市長挨拶【ELIAS AYA-AY様】



村長挨拶【CARLITO GALIA様】



川本から感謝の言葉・・・



感謝状授与



小川からプレゼント



大野からプレゼント



女の子達の息のあったダンス



女性スタッフと



橋本からプレゼント



森からプレゼント



多田からプレゼント 皆笑顔です！



市長・村長・プロジェクトリーダー一同



### ■バスケットボール対決

盛り上がってきたところで「一緒にゲームをしよう!!」と声が上がります。  
ここはバスケットコート!? 急遽バスケットボール対決が始まりました。  
地元スタッフVS!! 会場は大盛り上がりで、シュートが決まる度に子供たちからは  
大歓声。メンバーは暑さと運動不足ですぐに息が上がってしまいました……

### ■子供たちのゲーム

次は子供たちがゲームで盛り上げてくれます。ジュースの瓶にリレー形式で  
ペットボトルのフタ(かなり小さい)に水を入れていきます。

最後に一番水の量が多いチームが勝利です!

### ■歌のプレゼント

8歳の女の子がドレスを着て歌のプレゼントをしてくれました。  
ざわめいていた会場は瞬時に静まり返り、彼女の歌に聴き入ります。

### ■飴プレゼント

最後に子供達に飴のプレゼント。

先生の指示に従って5列に並んで、一人ずつ手渡ししました。

「ありがとう」と日本語で子供達は笑顔で応えてくれました!!

### ■記念撮影

最後はみんなで記念撮影。みんな本当にありがとう!!



さあ～バスケで対決!!



シュートが決まる度に大歓声



天使のような歌声



子供たちの白熱したゲーム



リレー形式で瓶に水を入れてます



勝利チームに飴贈呈



子供達も一緒に記念撮影



現地の植樹スタッフの皆様



子供達全員に飴のプレゼント  
長蛇の列!!

■16:00サイト見学

子供たちとの交流会の後に学校のすぐ裏にあるサイト(植樹エリア)を視察しました。

入口にはモニュメントが堂々と立っています！

そこからサイトから海へと繋がる浜辺には立派な竹橋が完成していました。

50名ほどで2日間かけて建築したそうです。

その竹橋のスタート地点にARIGATO(ありがとう)の文字が刻まれています・・・！！

ナーサリ(マングローブの苗床)もあります。こちらは4日間かかったそうです。

すべて竹で作られていてももちろん重機などありませんから、地元の皆さまの手作りです。

明日の植樹にさらに意欲が増してきます！！

■19:00 夕食～就寝

ホテルに戻り休憩の後、港の市場にて夕食です。

市場は丁度、夕食前の買い物をする人々で大賑わいです。

新鮮な魚や塊の肉、お米に香辛料、フルーツ……お腹が鳴ります～

夕食は港にある屋台にて。鳥や豚の串焼きとご飯！！

ここでは箸は無く、豪快に手で頂きました。

照り焼き風味の味付けの炭焼きで美味しく満腹です。

くたくたになりホテルまでは自転車タクシー！？にて帰宅して、そのまま就寝。



サイトへ続く手作りの竹橋



竹橋にはARIGATO(ありがとう)の文字が！！



ナーサリ(苗床)



港の市場様子 夕食前で大賑わい



サイトの入口の記念碑にて 明日は植樹！！



夕食は串焼き スタミナ抜群！！



ホテルまで帰りは自転車タクシーで帰宅  
もう歩けません・・・

■7月8日 3日目:植樹

■7:00起床

いよいよ本日はマングローブの植樹です。

昨日に続き今日も晴天となりました。

朝なのに汗がとまりません・・・

熱中症対策で帽子やタオルを頭に巻き、WITHのTシャツを着て出発です！！

■8:00サイトへ出発

朝食は車中にてサンドイッチ。味付けはマヨネーズにケチャップ  
久々に日本的な味でした。

■9:00植樹

到着すると現地のスタッフが竹を切っています。

この竹を波が来る方向に苗と一緒に刺します。目印と波除になるのです。  
竹橋から竹と苗木を皆で運んで行きます。昨日の子供達も手伝いに大勢来てくれました！名前入りのTシャツ効果抜群で名前で挨拶してくれます。

今回は海岸沿いに糸を貼りそれに沿ってまっ直ぐに苗と竹を植えて行きます。

マングローブの根と海中にある岩などで足場は良くありませんが

1本1本丁寧に・・・日差しが強く暑いですがまだまだ苗は沢山あります。



数時間で一面苗で一杯になりました！



出発前にホテルにて



朝食は車中にて手作りサンドイッチ



サイトへ向かいます



途中に海蛇の死体が・・・！！



竹を切って苗の支えとします



竹を運ぶ現地の皆さん



子供達は苗を運びます



波から守る大切な柵



糸を貼りまっ直ぐに植えます



鉄の棒にて固い地面を掘り植樹スペースを作ります



まだまだこれからです・・・

■植樹の様子

今回は400本近くの苗を植える事が出来ました。

途中暑さと疲労はありましたが、子供たちと地元スタッフの応援のおかげで予定していた全ての苗を植える事が出来ました！！



飛び入り参加の地元の看護婦さん達

子供達は苗をどんどん運んでくれます！

大きなマングローブが育ちますように。。

■11:30 植樹終了～昼食

炎天下の中での植樹も無事に終了しました。

先日の交流会会場にて昼食を頂きました。地元スタッフの皆さまが心をこめて沢山の御馳走に大満足でした。

グロテスクな魚の塩焼きは淡白な白身、なんとウニの刺身も目の前の海で沢山獲れるそうです。海老の煮物は甘辛い味付けでした。



テーブル一杯の御馳走



どれも美味しかった！

■13:00 休憩

昼食後に休憩をしていると、植樹を手伝ってくれた子供たちが集まってきました。

バスケットをしていた子供たちに飛び入り参加！！

地元スタッフも集まりリーダーを中心に本日の反省会が始まりました。

皆さん先ほどの笑顔とは違い真剣な表情で話をしています。

その姿勢にとっても感激しました！

■14:00 最後に皆で記念撮影をして別れを告げました。



最後に記念撮影 みなさんありがとう！！



スタッフの打ち合わせ



バスケットをする子供たち

■14:30 打ち上げ会

帰り道にあるレストランにて植樹の打ち上げ会をしました。それぞれが今回の交流会と植樹の感想を語り合い盛り上がりました。

■川本:「レイテ島でこのような活動をするグループはまだまだ少ない。地域に貢献できた事を実感できた！」

■小川:「まだまだ始まったばかりの植樹活動。これからにとっても期待できる！」

■大野:「出迎えてくれた子供たちの感謝の気持ちが良く伝わった！」

■橋本:「皆の笑顔とありがとう！の声に感動した！」

■多田:「ピュアな瞳から僕たちへの感謝の気持ちがとても感じられた！」

■森:「子供たちの夢を聞いて励みになりました！」

全員の気持ちは「感謝」という気持ちで一杯でした。



レストランの様子



お疲れ様！話が尽きません

■15:00 ホテルへ出発

空港の近くのホテルまで向かいます。

長い道のりになりそうです・・・

■15:30 「ZIP SOUTHERN LEYTE」

途中で最近できたというレイテ島の観光新名所！？を立ち寄りました。

それは山を落ちるように谷に向かって急降下する絶叫アトラクションなのです！！



入口の看板



右上の建物からワイヤーが100Mほど先まで

最初はあまりの高さに見てるだけ・・・ 川本が先陣を切って「やるぞ！」

続いて「森と橋本も！！」 小川・大野・多田は見てるだけの根性無しとなりました・・・

ワイヤーのロープを体に付けて真下に落ちるように急降下！？あっという間にその姿は小さくなっていきました。

番外編の思い出ができました。

■18:00 ホテル到着

日もすっかり暮れてようやくホテル「AENGELA PENSION HOUSE」に到着

ここでは大部屋となり皆で泊まることとなりました。

近くにあるショッピングセンターにて夕食を済ませ、就寝です。



ホテル「AENGELA PENSION HOUSE」と大部屋の様子



雲行きも怪しくなってきた！？



署名をする橋本



片道切符になりませんように・・・  
1回280ペソでした。



川本・森・橋本の署名



緊張する橋本と森



川本は余裕の表情！



両手を広げて・・・さあ～ 急降下～



あっという間に小さくなってきます・・・

■7月4日 4日目

■10:00 ホテル出発空港へ

いよいよレイテ島ともお別れです。空港までは車で15分ほど、ここでWITH現地スタッフに別れを告げマニラに再度向かいます。

ここで・・・ハプニング発生！？

橋本が搭乗30分前に「携帯をホテルに忘れた！！」一同啞然です。

一度はお別れした現地スタッフの車を呼び大急ぎでホテルまで戻りました。

そしてフライト2分前のところでぎりぎり間に合いました。

■12:30マニラ到着～モールオブアジア

マニラ空港に到着後、最近オープンした大型ショッピングモール「モールオブアジア」に立ち寄りました。

■15:00ホテル到着～就寝

初日と同じホテル【ATRIUM HOTEL】到着。

今までの疲れがどっと出て、ホテルにてそれぞれ休息してから夕食を済ませ

そのまま就寝となりました。

■7月5日 5日目(最終日)

■11:00 マニラ空港へ向かい日本へ戻ります。

■18:00 中部国際空港着



中部国際空港にて お疲れ様でした！！



チェックアウト



ホテル前にて



橋本を心配しながら搭乗



フライト2分前に走る橋本の姿が！



ぎりぎり間に合いました



モールオブアジアにて吉野家の牛丼を久しぶりの日本食は旨い



ホテルには川本様ご歓迎の看板が子供たちへのプレゼントで一杯だったスーツケースも空っぽです